

代表質問(要旨)



議員 八島 功男
公明党 土浦市選出

内水氾濫における浸水被害軽減への取組

議員 令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号による内水氾濫の被害を受け、雨水をくみ上げるポンプや排水路、排水機場などのハード対策に併せて、ソフト対策が急務であると考えますが、所見は。

知事 ハード対策は多大な時間と費用を要するため、ソフト対策に重点を置き、市町村に対し、内水ハザードマップの作成や適切なタイミングでの避難情報発令の支援などを行い、人的被害ゼロに向け、市町村と連携しながら取り組んでいく。

6月豪雨の農作物・土地改良施設の被害対策

議員 本年6月の豪雨は、本県の農林水産業に推計5億円を超える被害をもたらした。激甚化・頻発化する自然災害への備えは十分でなければならぬと考えるが、今後の対策は。

知事 農林漁業災害対策特別措置条例の速やかな適用や災害復旧事業の活用などの支援をはじめ、農業水利施設の補修・更新を計画的に進めるとともに、収入保険制度の加入促進を強化し、被害対策と被害の軽減に取り組んでいく。

農業基盤整備と用排水コントロール

議員 土地改良などの農業基盤整備の本質は、用水や排水の整

備により、水をコントロールすることであると考える。農業の生産性向上と高収益化の土台をつくる農業基盤整備事業を、今後どのように進めていくのか。

知事 「儲かる営農構想」に基づき、排水性が改善できる水田について、用水や排水施設を整備し、用排水を適切にコントロールすることで、収益性の高い品目への転換や施設園芸団地の形成を目指し、儲かる農業の実現に全力で取り組んでいく。

常磐線特急の羽田空港直接乗り入れへの期待

議員 常磐線は、2031年度開業予定の(仮称)羽田空港アクセス線への乗り入れが期待される。今後の乗降客の増強がダイヤを決する鍵となるため、他県に先駆けて戦略的にアピールしてもらいたい。所見は。

知事 羽田空港と直接結ばれることは本県経済への大きな追い風となる。一本でも多くの列車の乗り入れが実現するよう、関係者と連携しJRに働き掛けを行うとともに、利用促進を図るなど戦略的に取り組んでいく。(ほかに、M字カーブ、L字カーブ及び生涯賃金を踏まえた就業継続への取組、ひとり親家庭の貧困対策なども質問)



土浦駅改札「ようこそ土浦へ」



議員 二川 英俊
国民民主党 ひたちなか市選出

これまでの県政運営と今後の課題

議員 現任期中間地点において、これまでの県政運営についてどのように評価し、今後の課題についてどのように考えているか。

知事 新しい茨城づくりに全力で取り組んできた結果、本県の魅力や潜在力の高さを国内外に示すことができた。一方で、海外に見いだしていくことや、中長期的な視点に立った事業構造の転換が求められる。困難な課題に対しても果敢に挑戦し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に取り組んでいく。

女性に選ばれる企業の育成

議員 近年増加する女性若年層の県外流出を防ぎ、働くなら本県の企業を選びたいと言われるような県内企業を育成していくことが必要である。女性活躍を進めていくため、女性に選ばれる企業の育成についての所見は。

知事 男女がともに持てる能力を存分に発揮し、社会経済の発展に貢献することは世界の潮流である。先進事例の周知や先進企業表彰などによる経営者の意識改革、経済団体と連携した研修、企業誘致による女性活躍の場の拡大などに取り組んでいく。

農作物の病害虫対策

議員 県総合防除計画の進展は有機農業へつながる技法の開発や理解の促進につながると考える。本県の重要産業である農業の課題である病害虫対策についてどのように考えるか。

知事 県総合防除計画で定める天敵昆虫の活用などの手法を、有機農業などの環境に配慮した付加価値の高い農業の推進に活用していく。計画に基づく適切な病害虫防除を推進し、高品質な農作物を安定生産することで、儲かる農業を実現していく。

ひたちなか地区の振興

議員 ひたちなか地区は、インフラ環境の整備も進み、継続的に発展を遂げているとともに、産業集積や観光の面でも取り組みが進められている。今後のひたちなか地区の振興についてどのように考えるか。

知事 産業集積面では、半導体関連企業などの集積を目指し誘致に取り組んでおり、常陸那珂工業団地の拡張に着手した。観光面では、観光消費額や地域のブランド力向上に取り組んでいる。関係機関と連携し、企業立地や観光誘客をより一層進める。(ほかに、災害に強い道路基盤の整備、中小企業における賃金上昇への支援なども質問)



令和4年度茨城県女性リーダー登用先進企業表彰

「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会」の中間報告を行いました

本委員会(伊沢勝徳委員長)は、今年3月の設置以降これまで5回開催し、県執行部からの説明聴取はもとより、各分野の第一線で活躍する有識者を招いて意見交換を行うほか、国に対し、「これからの人づくりに向けた対策の充実・強化を求める意見書」を決議するなど、鋭意、未来を見据えた人づくりの問題に向き合ってきました。

中間報告では、「結婚・出産の希望がかなう社会づくり」「安心して子どもを育てられる社会づくり」「誰もが教育を受けることができる社会づくり」「多様な働き方・外国人材の積極活用等」の4項目に沿って、重点的に取り組むべき事項を提言として取りまとめました。そして、本委員会における提言の趣旨が、予算や組織体制などに的確に反映されるよう、県執行部に求めました。

今後も、最終報告の取りまとめに向け、引き続き精力的に調査・検討を進めてまいります。



中間報告を行う伊沢勝徳委員長

「茨城県議会と茨城キリスト教大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結記念事業を実施

県議会と茨城キリスト教大学との相互連携・協力に関する包括協定の締結を記念し、議会および大学で講演会などを開催しました。

8月31日、「茨城キリスト教大学の地域貢献」と題し、上野尚美学長が県議会で、本県の活性化に向けた英語教育に関する提言などの講演を行いました。

また、10月12日には、「未来に誇れる持続可能な茨城づくり」と題し、石井邦一議長が茨城キリスト教大学で講演および学生との意見交換を行いました。

講演では、積極的な議員提案条例の制定といった議会改革の取り組みなどが説明され、その後、講演内容に関して学生と活発な意見交換が行われました。

今後とも大学と連携し、議会の政策立案機能の向上や、若者の人材育成などに取り組んでまいります。



学生と意見交換を行う石井邦一議長

ことば ※ 【(仮称)羽田空港アクセス線】…JR東日本が整備を推進している、都心部と羽田空港をダイレクトに結ぶ新たな鉄道ネットワークであり、東山手・西山手・臨海部ルートの3ルートが計画されている。